

# まちの出来事

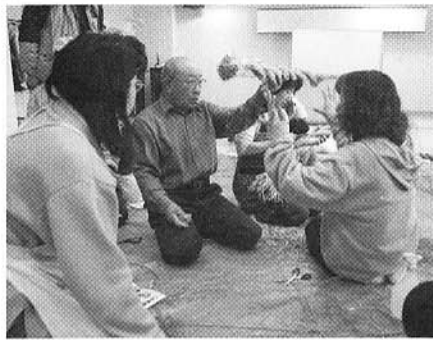
参加者も真剣な表情

## 伝統技法でしめ縄作り

藻別の木原良夫さんを講師に招き12月14日、総合福祉センターで「しめ縄づくり講習会」が開催されました。

同講習会は毎年師走に開催される伝統行事で、この日は市民23人のほか、同センター運営委員も参加し、市内で採取したスゲを利用して伝統の「縄なま」の技術を学びました。木原さんは参加者に「新しい年を迎えるためにたくさんの方が来てくれて感激しています。スゲを受け取ったら何をどう作るのか考えて欲しい。

気に入るのができるまで努力してください」と呼び掛けていました。



## 旭日双光章受章

### 富澤直六さん

市職員、市議会議員として地方自治の育成発展に貢献した花園町5の富澤直六さんに秋の叙勲で旭日双光章が贈られました。12月8日の伝達式では網走支庁の加藤地域振興部長から叙勲を受け取り、富澤さんは「このような大きな

章をもらうとは思っていませんでした。この榮譽に応えたい」と語りました。また、伝達式終了後には、市政発展の一助にと寄付金100万円を宮川市長に手渡しました。富澤さんは昭和15年、当時の紋別町役場に奉職。図書館

兼博物館長や水道部長を経て、昭和56年に退職。昭和57年に市議会議員に初当選してから



## 従五位 旭日小綬章受章

### 故佐藤留次さん

昭和53年8月から8期30年にわたって市議会議員を務め、今年9月に亡くなった故佐藤留次さんへの特旨叙位・特別叙勲の伝達式が12月3日市役所で行われ、宮川市長から遺族へ伝達されました。

佐藤さんは昭和53年に市議会議員に初当選。以来、8期30年にわたり市政の発展に貢献しました。

平成10年8月から18年8月までは紋別市議会議長を務め上げ、オホーツク紋別空港や総合福祉センターの開設、博物館の建設などに尽力され、平成10年からは全国市議会議長会の理事、評議員等も歴任

6期にわたり議会運営に携わり、その間、全国市議会議長

会特別表彰、紋別市長表彰などを受賞しています。

## 旭日単光章受章

### 故菅原 廣さん

平成6年から平成18年まで3期12年にわたり市議会議員として市政発展に寄与し、今年8月に死去した故菅原廣さんに特別叙勲が贈られ、12月4日市役所で幡野副市長から勲記と勲章が遺族に伝達され

ました。伝達式には妻の悦子さんと息子の豪さんが訪れ、幡野副市長と廣さんの思い出について語り合いました。



## 従六位受章

### 故森澤億明さん

昭和41年から連続4期16年にわたり市議会議員を務め、今年の10月に死去した故森澤億明さんに特旨叙位が贈られ、12月10日、自宅で宮川市長から遺族へ伝達されました。

森澤さんは、市議会議員として、建設常任委員会委員長、文教厚生常任委員会委員長等の要職を歴任し、市の産業発

展、社会福祉の向上並びに教育の振興等に大きく貢献されました。

また、紋別市農業協同組合理事、紋別市森林組合組合長、紋別市シルバー人材センター理事長等の要職も務められ、市の振興、発展に寄与されました。